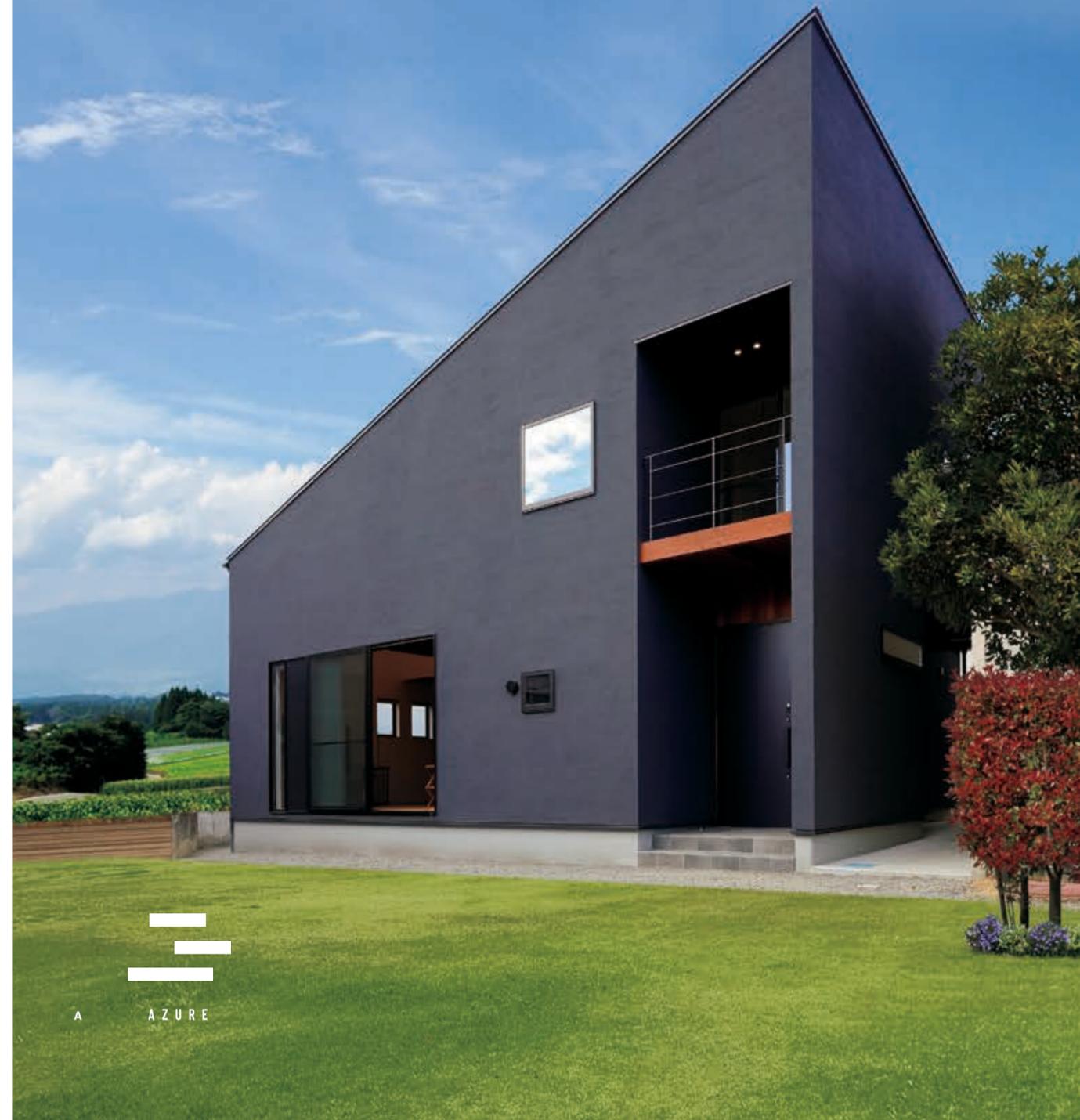


家族が心地よくつながる
シームレスな家

No_09
Example Report.

Builder:
木下工房

Note:
松本市/T邸
家族構成/3人



A
AZURE

暮らしやすい平屋がいい、
でも広さや開放感も欲しい。
どちらも叶える理想の家

閑静な住宅地の中で、目を惹くダークグレーの外壁。片流れ屋根のシャープなフォルムが、青空にキリッと映えます。隣に立つのは、ご主人のご実家。老朽化で空き部屋になっていた一部を取り壊し、ご夫婦の新居に建て替える計画でした。

木下工房はリフォームを主に、新築も手掛ける地元密着の工務店。「お付き合いは父の代から。実家も木下工房さんで建てたので、安心して相談しました」

ご夫婦の希望は間取りやデザインを自由に選べる注文住宅。ゼロからの住まいづくりは、なかなか対応力の点でも、木下工房に全幅の信頼を置いていました。

何十年経っても、住み心地の良い家とは？ご主人の考えは、1階だけで生活を完結できる平屋のような家。「リハビリに携わ

る仕事柄、2階の不便さを痛感します。年をとって足腰が弱ったら、階段を上らなくて済む家にしたかったんです」。一方奥様の憧れは、家族みんなが集まって料理を楽しめるアイランドキッチン。一日の大半を1階で過ごすため、キッチンを中心としたLDKの居心地の良さは、譲れないポイントでした。

こうしたご夫婦の思いに応えたのは、木下工房の小原さん。暮らしの機能は1階に集約し、スキップフロアや上下階をつなぐ吹き抜けで、平屋にはない立体感と広がりをもたせたプランに、「私たちのイメージとおり！」と納得のご夫婦。「大さんとは最初から感性が合う気がして。家づくりの随所に、僕たちの好きなモノをちゃんと分かってくれた安心感がありました」



C



B

A_表情豊かなジョリパットの質感と鋭角なフォルムが、スタイリッシュな佇まいを演出。シンプルな片流れ屋根は、デザイン性だけでなくコスト面でもメリットが大きい。 B_明るい風合いのレッドシダーが、玄関周りのアクセントに。玄関を入れて正面の壁には、外壁材と同じジョリパット。洗面所のニッチにはレッドシダーをあしらひ、家の内と外に統一感をもたせた。確かな技術に裏打ちされた遊び心あるデザインは、木下工房ならではの。 C_2階の屋根付きバルコニーが、小さなアウトドア・リビングに。



G プロジェクターで2階の壁が大画面に。ゲームや映画鑑賞を楽しむ、家族団らんのフリースペースになっている。 **H** 十分な広さを確保したLDKは、開放感いっぱい。早起きのご主人は、「休日の朝、静まり返った広いリビングでくつろぐのが幸せ。冬でも寒くないし、朝が優雅になりました」。

入居してわずか1週間。ご家族は、図面がたちになった感動の余韻を味わっている様子です。リビングへと続く重厚なハイドアを開けると、そこは吹き抜けの大空間。階段の途中にはスキップフロアを設け、ご主人のワークスペースや思い出の品を飾るギャラリーといった、多目的な空間をつくりました。2階

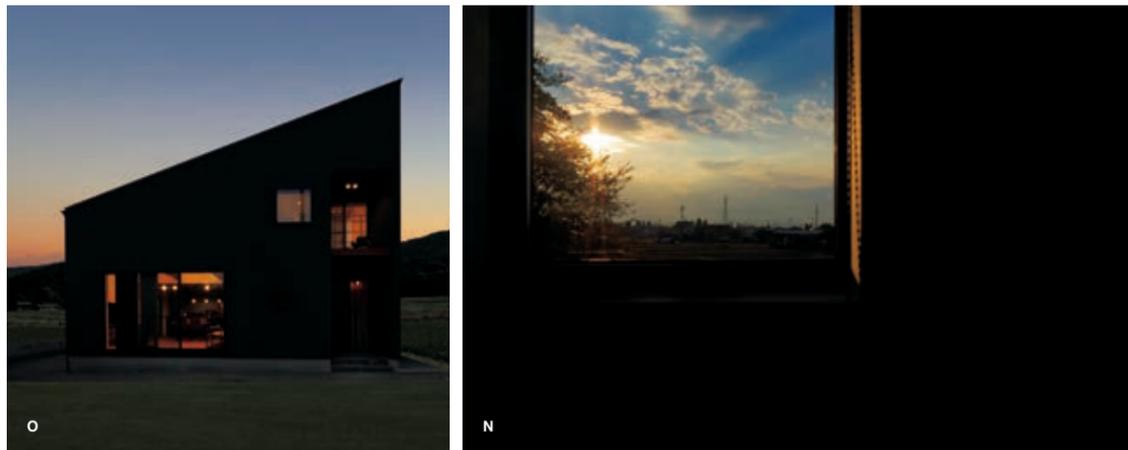
人も空間もつながる
オープンな間取りと
行き止まりのない回遊動線

に広がるオープンなワンフロアは、趣味を楽しむフリースペース。いずれは子供部屋にする予定です。「極力空間を仕切らず、どこにいても家族の気配を感じられる家になりました」と小原さん。後追いが始まった1歳半の娘さんを抱えるご夫婦は、「2階からも娘の姿が見えるから、ほんと安心なんです」。さらにT邸には、家中をぐるりと回れる間取りを採用。寝室とファミリールームをセット、そしてキッチンと洗面所、トイレ、玄関をつなぐ二つの回遊動線があり、どの部屋へ行くにも便利で

楽しい工夫を凝らしました。コロナ禍で先延ばしになっていた結婚式を挙げ、間髪入れずに新居が完成。Tさんご一家にとっては、人生の一大イベントがいつべんに押し寄せた一年でした。家という大きな買い物だけに、ワクワクと不安が混在する気持ちもあったそうですが、今は、「ああ、頑張ってたよかって」。これから庭にウッドデッキやブランコを置いたり、おうちキャンプをしたり、暮らしが落ち着くのはもう少し先ですが、ご夫婦の表情は今日の青空のように晴れやかです。



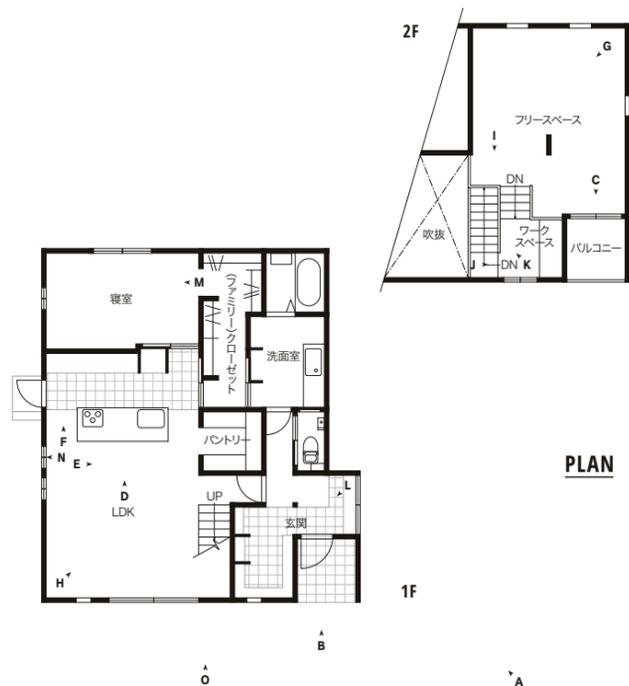
D 念願のアイランドキッチンに、「色々出しても広々。料理のストレスがなくなりました」と奥様。 **E** モノトーンのインテリアに木のぬもりが調和するLDK。自ら選んだ照明や上部を三角形に切り取ったパントリーの入り口など、ご夫婦のセンスがふんだんに盛り込まれている。 **F** 製材工場や建材倉庫を自社に備える木下工房は、家具や建具の造作もお手の物。キッチン背面には職人が手づくりした美しい収納棚を。



DATA

| | | |
|------|---------|----------|
| 敷地面積 | 300.00㎡ | (90.57坪) |
| 延床面積 | 111.79㎡ | (33.75坪) |
| 1F面積 | 80.32㎡ | (24.25坪) |
| 2F面積 | 31.47㎡ | (9.50坪) |

工法/木造在来軸組工法 基礎/ベタ基礎 構造材/柱:ヒノキ、梁:マツ、土台:ヒノキ 断熱材/天井:高性能グラスウール100mm+100mm、壁:高性能グラスウール100mm、基礎:押出法ポリスチレンフォーム65mm 主な外装仕上げ/屋根:ガルバリウム鋼板、外壁:ジョリパット 主な内装仕上げ/天井:クロス、壁:クロス・ジョリパット、床:ナラフローリング・建材フローリング 開口部/LIXIL:複合樹脂サッシ・Low-Eペアガラス キッチン/TOTO クラッソ キッチン熱源/1Hクッキングヒーター パスルーム/タカラスタンダード グランスパ 暖房の種類/エアコン UA値/0.46



I・J_1階と2階の間に設けたスキップフロア。部屋を仕切らず緩やかにつなげることで、空間に一体感と開放感が生まれた。 K_鉄骨階段の手すりには木材を被せ、鉄骨と色を統一。こうした細部にも、大工の技がふんだんに生かされている。 L_天井に届く高さ、ドア枠を付けない特殊な施工など、こだわりが詰まったリビングの造作ハイドア。「大工や建具だけでなく、金物・ガラス・コーキング・塗装など、さまざまな分野の職人技術を結集したドアです」と、小原さんが胸を張る。 M_照明のほのかな明かりが、健やかな眠りを誘う寝室。ここからファミリークローゼット、洗面所、トイレへ直行できる回遊動線のおかげで、「忙しい朝も、最小限の動きで身支度ができるんです」。 N・O_夕映えの空に、T邸のアシンメトリーなシルエットが浮かび上がる。西向きキッチンの窓からは、晴れていれば北アルプスの壮大な風景が望める。



Owner:
Tさんご家族

Q1. 家づくりで一番大切にされたことは?

A メリハリのあるお金の使い方。こだわればキリがないので、長い時間を過ごすLDKにはお金をかけ、2階や寝室は節約しました。

Q2. こうしておいてよかった、と思ったことは?

A 動画サイトやSNSで徹底的に情報収集したこと。迷った時は、自分で得た知識が判断基準になるし、納得もしやすくなります。

Q3. このビルダーさんに頼んでよかったことは?

A すべてにおいて丁寧かつ臨機応変に対応してくれたこと。家づくりながら細部を煮詰めていく進め方も安心できました。



Builder:
担当/小原 大さん

Q1. この家のコンセプト、ポイントは?

A いつも家族を近くに感じることのできる空間。吹き抜けのLDKとスキップフロア、ワンフロアの2階の一体感にこだわりました。

Q2. この家の見どころを3つに絞るなら。

A 暮らしやすさを導く回遊性の高い間取り、職人が総力をあげて手づくりした建具や鉄骨階段、統一感をもたせた内外装。

Q3. 家づくりで一番大切にしていることは?

A 松本市・塩尻市・安曇野市の新築・リフォームに特化し、地元で根付いて60年。「誠意ある家づくり」にこだわっています。